

中高生世代専用のスペースについてご紹介します！

中高生世代専用のスペースでは何ができるの？

友達とおしゃべりしたり、ひとりで本を読んだり、自習をしたり、とにかくゆっくりしたりと、安心して好きなように時間を過ごせる居場所として利用してください！

相談事等がある場合には、スタッフが課題や悩みなどを聞いて一緒に対応を考えサポートします！

オープンに先駆け プレイベント開催！

仕事のリアルな話を聞いてみよう

～私たちの知らない大人の世界～

日時 令和5年3月25日(土) 14時～16時

場所 多摩平産業連携センターPlanT イベントスペース
(日野市多摩平2丁目5番地の1 多摩平の森レジデンス1階)

対象 市内在住・在学の中学生、高校生及びその世代の方

申込み 右の二次元コードから または 下記連絡先まで電話で申込みを！
(事前申し込み制/20名程度を想定)

参加費無料
おやつあります



市内在住/在勤の講師の話を聞いて、 自分の少し先の未来を考えてみましょう！



実践女子大生が子育てひろばを温かくしています

既存の子育てひろばでは、実践女子大学の幼児保育専攻の学生が参加し、乳幼児や保護者に笑顔を届けてくれています。

乳幼児は学生の関わりに興味関心を示し、学生は乳幼児と保護者を温かく受け止めてくれています。

みらいくは市内の子育て機能の総合拠点の位置づけであることからこの温かさをみらいくの「子育てひろば」にもつなげていきます。

実践女子大生によるクリスマス会の様子(子育てひろば万願寺「にこにこ」)→



こ ほうかつし えん
(仮称) 子ども包括支援センター

みらいく だより

第③号



すべての子どもの健やかな成長を切れ目なく支援する子ども・家庭・地域の子育て機能の総合支援拠点

新

子どもなんでも相談

子育てサービスのことをもっと知りたい！

新

中高生世代専用の居場所

自習スペース、中高生世代対象のイベント！

新

子育てひろば

地域の身近な遊び場・相談の場

充実

児童虐待の予防・対応強化

子育ての不安感や負担感を解消します

(仮称)子ども包括支援センターみらいく

市役所の向かい、実践女子大学の芝生の隣の敷地に、市内の子育て機能の総合拠点となる施設を整備しています。

「みらいく」には「子どもなんでも相談」窓口や「児童虐待の予防・対応」の拠点となる行政機能が入るほか、最上階となる3階には以下のような場所ができます！

乳幼児とその保護者が一緒に遊んで過ごせる場所「子育てひろば」 **内面へ**

中高生世代専用の居場所 **裏面へ**



オープンは令和6年度初め頃(予定)になります



工事に現場の地中から工事に支障を与える構造物が発見されました。これを撤去するため、令和5年10月末までの工事期間を令和6年1月末まで延長します。

これに伴い、(仮称)子ども包括支援センターみらいくのオープンは、令和6年度初め頃(予定)となります。オープンを心待ちにしてくださっている方には、大変申し訳ありませんがご理解ご協力をお願いします。

←令和5年2月撮影 工事現場の様子

日野市 子ども部 子ども家庭支援センター

電話 042-599-6670 ファックス 042-599-6671 メール hohoemi@city.hino.lg.jp

○「(仮称)子ども包括支援センターみらいくだより」は3か月ごとの発行を予定しています。

○第4号の発行は令和5年6月の予定です。

○過去の「みらいくだより」や子育てひろばのワークショップの内容、「整備方針」の詳細等は日野市ホームページに掲載しています。右の二次元コードから是非ご覧ください。



こんなメンバーでこんなことを話し合いました！

子育てひろばを設置するためのワークショップ 開催概要

「子育てひろば」を利用する市民、子育て関連施設・団体の関係者、敷地を所有する実践女子大学と、市役所職員が集まって、「子育てひろば」のデザインとそこで実施するプログラムを検討する全5回のワークショップを開催しました。

第1回ワークショップ

11月3日(木)開催



基本的な情報を確認したら、持参した写真などを材料に、「こうなったらいいな」という目標像について話し合いました

第2回ワークショップ

11月27日(日)開催



机に図面を広げて、「子育てひろば」のレイアウトや使い方、必要な設備などのイメージを膨らませていきました

第3回ワークショップ

12月17日(土)開催



市役所中庭に原寸大のレイアウト図面を描いて、実際の大きさを確認しながら各エリアの中身を具体的に検討しました

第4回ワークショップ

1月21日(土)開催



内装整備に関する「整備方針(案)」と、整備後のイベントや運営のあり方について話し合いました

第5回ワークショップ

2月19日(日)開催



「整備方針」等の内容がこれまで話し合ってきた内容を反映したのものとなっているか最終確認を行いました

みらいの「子育てひろば」をこんな場所にしたいという考え方をまとめました！

ワークショップの検討の成果

子育てひろばの整備方針

全5回の話し合いで積み上げてきた内容を「整備方針」としてまとめました。令和5年度には、ワークショップの成果であるこの「整備方針」を手がかりに内装等の整備を行う予定です。

※実際の整備は「整備方針」の内容を参考にしながら整備を実施します。

目指しているのは…【基本的な方向性】

- 「行ってみたい」と思えるような特別な魅力がある場
- 子どもと保護者がともに楽しい時間を過ごせる場
- 子育ての支えになるような多様なつながり(中高生や大学生、専門機関等)や交流が生まれる場
- みなを暖かく迎え入れてくれる場
- 安全に遊ぶ/安心して遊ばせられる場
- ひろば外とも気軽に行き来ができる開かれた場

「家ではできない体験ができる」
「体を動かして目一杯遊ぶ」
「障害のある子、ない子が一緒に遊べる」
「気軽に相談できる/役立つ情報が得られる」
「同じような子や保護者と知り合える」
「保護者にとっては息抜きにもなる」

「覗いてみたくなる、入ってみたくなる」
「明るく暖かい雰囲気です心地がいい」
「保護者やスタッフの目が届きやすい」
「転んだりぶつかったりしても痛くない」
など

具体的な整備イメージは…

【機能配置計画、各エリア・スペースの整備方針】

体を動かすあそびエリア

- 大小の遊具や親子で座れるクッション、転んでも痛くない床等を持った様々な来訪者が“動”の遊びを楽しめる場所
- 柱を活かしてシンボルとなるような大型の遊具をつくり登る/くぐる/滑る等ができるように



ゆっくりゴロゴロエリア

- ひろばの奥は、赤ちゃんがハイハイしたり、もう少し大きな子が静かに遊んだりできる場所
- イベント時には一体的に利用できるような柔軟な使い方できるように



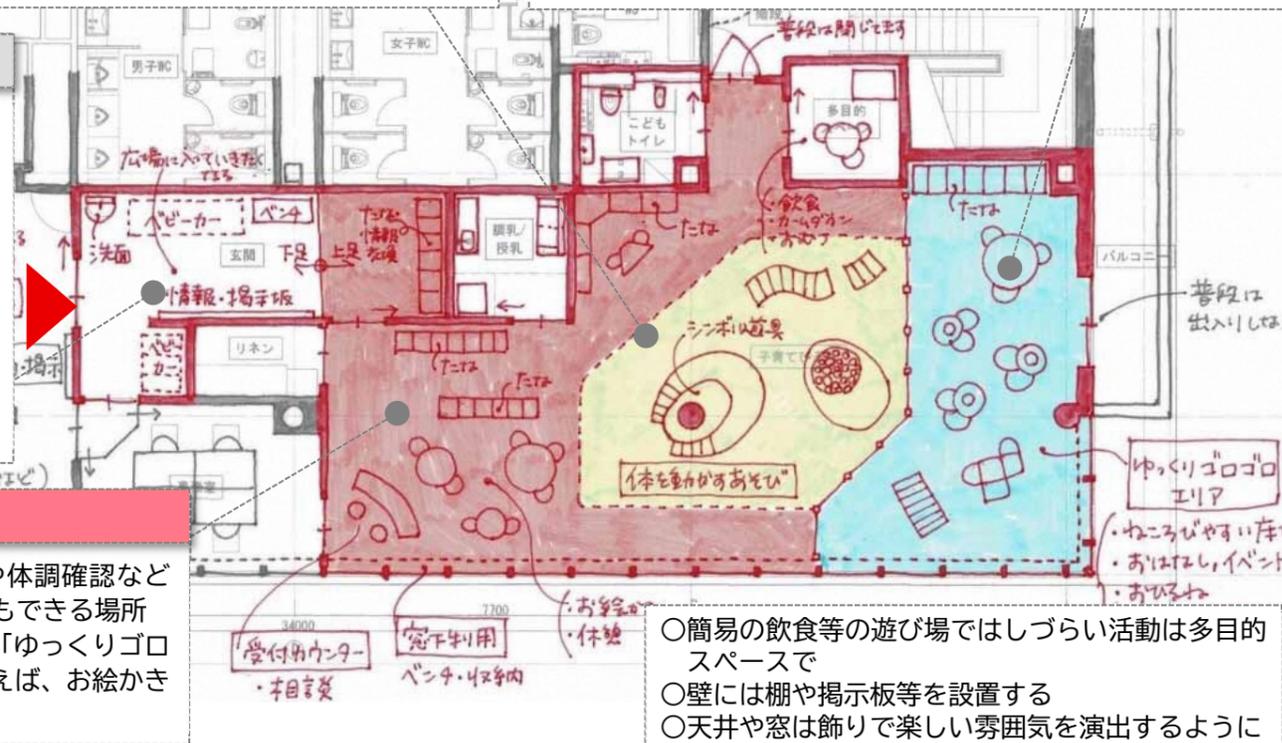
玄関通路

- (単なる通路ではなく)情報発信やギャラリーのような機能も持った場所
- 覗きたくなる楽しい空間に



受付周辺

- 入場時に必要な登録受付や体調確認などを行いながら、簡単な相談もできる場所
- 「体を動かすあそび」でも「ゆっくりゴロゴロ」でもない使い方(例えば、お絵かきや休憩等)ができるように



- 簡易の飲食等の遊び場ではしづらい活動は多目的スペースで
- 壁には棚や掲示板等を設置する
- 天井や窓は飾りで楽しい雰囲気を演出するように

ワークショップ参加者の声

ワークショップの中での発言
及び参加者アンケートより

検討中の子育てひろばへ「行ってみたい」「何かあったら相談したい」と思いますか？

	第5回	第4回
「そう思う」	85.0%	← 38.5%
「ややそう思う」	10.0%	← 23.1%

子育てひろばについて…

「みんなで話し合ったことが反映されていて、行きたくなるようなひろばになっている」
「今後は、施設の充実とあわせてスタッフの関わりが重要」

中高生世代支援施設について…

「目的がなくてもふらっと来られる場所」
「共有スペースではソファやコーヒーで一息」
「本や音楽を介して中高生世代と乳幼児や大人等と接点ができるかも」

オープンに向けてこんな取組がしたい…

「アーティストとコラボしてひろばを飾る作品づくり」
「〇〇講座のお試しイベント」「子ども用品のバザー」
「芝生遊びやたき火のイベント」
「中高生世代のSNS広報チームを募る」